

令和2年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

埼玉県

行事名称	妻沼聖天山消火訓練
実施期間・日時	令和2年1月26日
実施場所	宗教法人 歓喜院 聖天山中門(市指定文化財)及び付近一帯
主催者	妻沼聖天山 熊谷市教育委員会

■実施内容

訓練の想定

乾燥注意報、火災気象通報が発表され、さらに強風注意報が発表されたなか、国登録有形文化財「歓喜院籠堂」西側付近から出火し国宝「歓喜院聖天山」へ延焼の危険を及ぼした。

訓練の内容

出火建物は、木造建築物のため燃焼が極めて速く、火炎の噴出も大きくなるため、多量の注水と隣接建物への予備注水を主眼とし、火勢の一举鎮圧を図る。

参加者及び役割分担

- ・文化財所有者・歓喜院(119番通報) ・聖天山防災協力隊(放水銃及び屋外消火栓により初期消火) ・江南文化財センター(初期消火補佐、設備確認)
- ・妻沼聖天山関係者及び 聖天山防災協力隊による要救助者の検索及び出火建物の消火活動

特に工夫した点

国宝「歓喜院聖天堂」への延焼を防ぐための放水銃の実演を確認した。

問題点・課題

初期消火後に活動が想定される消防自動車が歓喜院聖天堂奥殿近くまで立ち入れないことから、ホース利用と放水銃による消火活動の導線計画を地元消防組織と綿密に情報共有する必要がある。

その他

今回実施した歓喜院では、防災協力隊を組織し定期的に訓練を実施するなど、地域と連携の取れた防災活動を展開している。

訓練風景



放水訓練